



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中!
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



ベルリンに咲く平和の桜

春にベルリンを散歩すると、いろいろな
場所にきれいな桜並木があります。どうし
てドイツの首都で、日本のような風景を味
わうことができるのでしょうか。今回はそ
の理由を紹介します。ベルリンは1961年
から1989年まで「ベルリンの壁」で分断
されていました。壁の崩壊とドイツ再統一
の実現という、たくさんのドイツ人が憧れ
た出来事は、日本でも大きな関心と呼
びました。「ベルリン市民の
心の安らぎ
と平和を願っ



て、壁の跡地に桜を植樹しよう」と呼びか
けたテレビ朝日は、1990年に「桜植樹キ
ャンペーン」という募金活動を始めました。
日本全国から約1億4,000万円の募金が集
まり、1991年から2010年までに約1万本
以上の桜が植えられました。これらの桜は、
ベルリンの壁が崩壊した後、荒廃した跡地
を復興させ、家族や友達が集って散歩をし
ながら、楽しい時間を過ごせる場所に変え
てくれました。春の風に吹かれながら静か
に咲く桜の花は、平和の大切さを訪れる人
たちに伝え続けています。

 今日の言葉 
キルシュブルーテ
Kirschblüte (桜)